

別紙:令和5年知事表彰対象者功績一覧

○団体表彰15件

・一般業務の部(12件)

表彰対象者	功績名/功績内容
<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> 危機管理部 県災害対策本部東部支部 鳥取市佐治町現地事務所 東部地域振興事務所 東部農林事務所 鳥取県土整備事務所 八頭県土整備事務所 中部総合事務所県土整備局 中部総合事務所農林局 	<p>災害への迅速な応急対応及び復旧</p> <p>【台風第7号による災害】 (表彰対象:左記表彰対象者に同じ) 令和5年8月14日から15日にかけて県東・中部を襲った台風第7号による記録的な大雨によって、大規模な土砂流出、河川護岸・道路の崩落、多数の孤立集落発生などが引き起こされたが、市町をはじめ関係機関と連携し被害状況の早期把握に努め迅速・的確な災害対応を行った。また、建設業者・測量設計業者の協力を得ながら維持工事を含む応急復旧対応によって被害防止を図り、住民の安全・安心の確保に努めた。あわせて、応急復旧工事と並行して、測量設計業者の協力を得ながらの測量・調査設計の推進とそれに続く災害査定の実施を短期間に成し遂げ、速やかな災害復旧につなげた。さらに、被害により出荷を目前に収穫・搬出作業が困難となった梨園への援農支援や稲作の用水確保等を行い、生産出荷体制の回復につなげた。</p> <p>【県内東部を襲った大雪災害】 (表彰対象:鳥取県土整備事務所、八頭県土整備事務所) 令和5年1月の大雪災害に際して、極寒かつ視界不良の中、倒木処理、除雪、交通誘導の調整等のために多くの職員が現地で対応するとともに、現地・事務所間での迅速な情報共有を行い、インフラ事業者や維持工業者、除雪業者と強固に連携した復旧作業に当たった。孤立集落周辺では復旧作業に必要な情報収集等を組織を上げて迅速に実行し、効率的な倒木撤去や電柱等の復旧作業が行われ、早期の孤立集落解消、交通開放、渋滞早期解消に繋がった。</p>
<p>2</p> <p>とっとり白うさぎダンサーズ</p>	<p>〜うさぎダンス〜兎の聖地からの情報発信</p> <p>卯年にあやかり、兎の聖地・鳥取県の認知度向上や誘客促進の一躍を担う「うさぎダンス」を元氣かつ華やかに披露し、東京ドームなどでのダンス披露は多くのメディアで取り上げられるなど大きな話題を集めるとともに、広告換算で約1.5億円の発信効果をもたらすなど「元氣な鳥取県」を最大限アピールした。</p>
<p>3</p> <p>産業未来創造課</p>	<p>宇宙産業創出への積極的なチャレンジ</p> <p>鳥取砂丘月面化プロジェクトを推し進め、7月には月面開発に取り組む国内外企業・研究者が実証実験を行うことのできる国内初の屋外フィールド「鳥取砂丘月面実証フィールド(ルナテラス)」をオープンさせるなど「宇宙産業×鳥取県」を広く浸透させた。また、ルナテラスで実証実験を行った企業・団体間での研究開発や協業が生まれるなど宇宙ビジネス創出・発展に向けた機運を高めている。</p>
<p>4</p> <p>国際観光・万博課</p>	<p>米子ソウル定期便運航再開の実現</p> <p>コロナ禍を乗り越え、米子ソウル定期便(エアソウル)の再開に向けての関係者間の信頼・友好関係を築き上げ、10月25日から4年ぶりとなる運航再開を実現した。運行再開後、高い搭乗率を維持しており、山陰ゲートウェイの新時代を切り拓く大きな礎を築いた。</p>
<p>5</p> <p>「星空舞」ブランド推進チーム (農業試験場「星空舞」研究チーム、生産振興課 水田作物担当、経営支援課 農業普及推進室、食パラダイス推進課 普及推進担当)</p>	<p>「星空舞」米の食味ランキング最高評価の獲得</p> <p>ブランド推進チーム一丸となり、「星空舞」の食味等向上に向けた栽培条件の解明と栽培技術の向上、栽培面積の拡大及び市場評価や認知度の向上に中心となって取り組み、とりわけ米の食味ランキング試験で最高評価「特A」を初めて取得するといった成果を上げた。</p>
<p>6</p> <p>買物環境確保推進課</p>	<p>きめ細やかな買物環境確保・支援の展開</p> <p>県内の買物環境確保に向けて、迅速な支援制度の創設や地域の実情に応じたきめ細やかな伴走支援を行い、県内各地で買物環境確保に対する意識が醸成され、買物に係る事業承継等が進むとともに、地域や個人、民間主体での買物環境確保に向けた新たな取組が生まれるなど買物環境の変革に寄与した。</p>
<p>7</p> <p>人権・同和対策課</p>	<p>とっとり安心ファミリーシップによる自分らしく暮らせる社会への前進</p> <p>性的マイノリティのカップルやその家族が協力し合う関係にあることを届け出ることのできる「とっとり安心ファミリーシップ制度」を創設し、県民一人ひとりが性の多様性を尊重し、みんなが安心して自分らしく暮らせる社会の実現に向けて大きな前進を図った。</p>
<p>8</p> <p>障がい福祉課</p>	<p>手話言語条例制定10周年記念事業の展開</p> <p>手話言語条例制定から10周年を迎えた令和5年、手話の聖地として第10回全国高校生手話パフォーマンス甲子園や手話フェスなどの様々なイベントを開催し、改めて多くの人に手話言語の魅力や手話言語が優れた意思及び情報伝達手段であることを広めた。</p>
<p>9</p> <p>鳥取県土整備事務所</p>	<p>国道178号「岩美道路」の全線開通</p> <p>大規模災害時の緊急輸送やジオパーク観光などの広域観光の基盤となる岩美道路について、世界的な半導体不足などコロナ禍による影響もある中、確実な工程管理、関係者との綿密な調整を行い、加えてインフラ整備の魅力や効果を広く情報発信し、地域全体の機運醸成を図りながら、令和5年3月12日に無事に全線開通を成し遂げた。</p>
<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> 西部総合事務所(県民福祉局、環境建築局、米子県土整備局) 西部県税事務所 	<p>県内初となる米子市との合同庁舎の完成と円滑な業務連携開始</p> <p>「人と環境にやさしい」をコンセプトに、県内第1号となる「とっとりUD施設認定証最高ランク」や「ZEB-Ready」の認証を取得するなど、住民や環境に最大限配慮した新庁舎を作りあげた。また、米子市の建築、建設、税務の各部署と連携した機能的にも新たな合同庁舎として、自治体の垣根を超えた住民サービス、利便性向上を推進した。</p>
<p>11</p> <p>県庁改革プロジェクトチーム 未来の県庁を考える若手チーム</p>	<p>若手職員が主導する次世代に向けた県庁改革</p> <p>業務上の課題を洗い出し、業務効率化や解決に向けた方策の検討、さらには若手職員自らが講師となりデジタル技術の能力向上を目的とする勉強会等を独自に実施するなど、若手職員の主体的な発想を活かした業務改革を推進するとともに、職員交流を推進するための職員スポーツ大会復活や執務環境改善を目的とする県庁内コミュニケーションスペース設置具体化に取り組むなど、未来の県庁を見据えた人材育成や働きやすい職場づくりにつながる県庁改革活動を重ねている。</p>
<p>12</p> <p>産業人材課</p>	<p>社会変革を見据えたデジタル人材育成の推進</p> <p>生産現場で使えるAIを効果的に学習できる本県独自の「スーパー工業士認定プログラム」を修了した、スーパー工業士第1期生が18名誕生するなど次世代人材のキャリア支援を着実に進め、さらに高単価で時間や場所にとられない多様な働き方ができるリモートワーカーの育成及び就労支援を官民連携で行うとともに、県内企業のリモートワーカー活用を促進する体制を構築するなど多数のデジタル人材の育成、スキルアップの支援を拡げている。</p>

・カイゼン大賞の部

令和5年度カイゼン発表会(12月22日開催)の上位入賞(金賞・銀賞・銅賞)所属を表彰

発表会の成績	
【金賞】 政策法務課	電子契約×RPA～契約書の押印(電子署名)はロボットにおまかせ～
【銀賞】 障がい福祉課	Excelの機能で補助金等交付事務処理を大幅に自動化
【銅賞】 庶務集中課	わかりやすい、使いやすい、公用車利用の新体制構築

○個人表彰4件

・災害支援の部(1件)

表彰対象者	功績名/功績内容
1 鳥取県職員災害応援隊	台風第7号災害に対する被災者支援活動 台風第7号で甚大な被害が発生した鳥取市佐治町、八頭町において、8月21日から8月30日までの間の6日間で延べ約150名が梨農家への援農支援や被災住宅敷地内の土砂撤去等の作業を実施した。また11月5日には三朝町において5名が土砂撤去等の作業を実施した。これらの支援活動を通じて被災地を復旧に向けて力強く後押しした。

・一般業務の部(1件)

表彰対象者	功績名/功績内容
1 林業試験場森林管理研究室 上席研究員 矢部 浩 西部総合事務所農林局農林業振興課 林業振興室長 小山 敢	海岸砂地におけるクロマツ苗木の枯損原因の解明 海岸クロマツ林の再生において課題であった海岸砂丘地に植栽されたクロマツ苗木の集団的枯損について、その発生原因を解明し、苗木枯損率減少に有効な植栽方法を生み出す研究成果を上げた。この技術は、実際の現場で苗木活着率向上につながっており、さらにこの研究は第63回治山研究発表会で最優秀賞を受賞するなど有識者間でも広く称賛され、全国の海岸林造成の成功率向上にも貢献することが期待されている。

・社会貢献活動・社会的功績の部(1件)

表彰対象者	功績名/功績内容
1 衛生環境研究所水環境室 室長補佐 森 明寛	地域住民とともに進める東郷池の水生植物保全・再生の取組 10年以上にわたり、セキショウモ(鳥取県絶滅危惧Ⅱ類)をはじめとする東郷池の水生植物の保全・再生や利活用に関する啓発や地域の学校・環境団体への技術指導等に献身的に取り組み、それぞれの活動を下支えるなど重要な役割を担っている。また、技術指導を行った学校の保全活動は環境大臣表彰を受賞するなど高い評価を受けるものとなっている。さらに、これらの取組は地元広報誌やメディアを通じて取り上げられるなど地域全体の環境保全意識の普及啓発に貢献している。

・職員の元気づくり等貢献の部(1件)

表彰対象者	功績名/功績内容
1 スポーツ課 スポーツ指導主事 前田 祐也	レスリング・アジア選手権等での好成績 レスリング男子グレコローマン82kg級で出場した令和5年に行われたアジア選手権で3位、全日本選抜選手権で準優勝、77kg級に階級を変更して出場した鹿児島国体でも3位となるなど国内・アジア圏の大会で連続して優秀な成績を収め、県民・職員に元気を与えるとともに県のスポーツ振興に寄与した。